

一般社団法人

東京都個人タクシー協会

会報

乗って安心個人タクシー

第75回 理事会の焦点

協会の財政基盤健全化に向けて

開催日時 11月26日(金) 午後2時

場所 日個連会館

決議事項

- ① 令和3年度上期事業報告並びに決算報告承認の件
 - ② 個人タクシー事業者研修会の書面開催による実施の件
 - ③ 新年賀詞交歓会廃止の件
 - ④ 委員会規則一部改定(案)承認の件
 - ⑤ 理事会運営規則一部改定(案)承認の件
 - ⑥ 役員等選出規則一部改定(案)承認の件
 - ⑦ 定款一部改定(案)承認の件
- (次回定時総会への提出議案)

令和3年度上期決算報告について

令和3年度上期も事業者数の減少による受取会費の大幅な減少(前年同期比マイナス387万1900円、6.0%減)が続いています。コロナ禍にあつて前年に引き続き各事業の中止や延期、書面開催等への変更による費用の抑制や雇用調整助成金収入等により、正味財産は731万7905円の増加となったものの、コロナ収束後、従来の通常業務に戻るような状況下においては、正味財産は大きく減少し財務状況の悪化により協会運営は極めて厳しいものになることは明らかな状況です。

会費収入減少に伴う事業の見直しについて

会費収入の大幅な減少が毎年続いていることに伴い、会費値上げに向け、会費値上げ幅を最小限に圧縮するための事業の見直しについて検討を続けておりますが、本日の理事会で左記の見直しが承認され、来年度から実施することとなりました。

● 新年賀詞交歓会の廃止

教育広報委員会の廃止、会報発行回数の縮小(会報の校正は正副会長会議で行うこととし、会報の発行を毎月から偶数月発行に変更)

● 理事会開催回数の縮小(原則毎月開催として、理事会を奇数月開催に変更)

● 理事定数の削減(6人削減)

● セーフティドライバーコンテストの記念品減額

引き続き、正副会長会議において、事業者負担を最低限に抑えることを前提として、事業の見直しとともに会費のあり方について検討を進めていくことになっています。

健康診断結果及び

脳MRI診断結果等の取扱いについて



国交省は、9月に発生した個人タクシーによる死傷事故をはじめとした健康起因事故を重く見ております。健康診断と合わせて脳MRI検査の受診を推奨することとはもちろんのこと、そこでの診断結果、その後医者にいかかっているかどうかまで各組合で把握していく方法について、皆さんと一緒に検討していきたいと思っております。

審議では、決議事項は原案通り可決承認されました。

都内個人タクシー現況(令和3年11月1日現在)
 許可事業者数 10,772名(前月比 -50名)
 (特別区、武三10,385名 北多摩147名 南多摩240名)
 傘下事業者数 10,431名(前月比 -48名)
 (特別区、武三10,047名 北多摩144名 南多摩240名)
 ※集計方法は運輸行政と異なります。

健康起因に関する事故防止研修会

10月25日(月)・29日(金)の両日、午後1時より、日個連会館にて健康起因に関する事故防止研修会が行われ、各所属団体の指導責任者及びタクセン指導協力員が参加しました。

本研修会は、9月11日に発生した個人タクシー死傷事故を受け、急遽開催されることとなったものです。

研修会の冒頭には、秋田会長より「この度の事故の原因とされているくも膜下出血は、なんの前触れもなく突然起ると思われていますが、前兆がある場合もあります。我々はプロの運転手として、何か体調に異変を感じた時でも、お客様を目的の地までお連れするという責任感により、つい車を動かしてしまふことで事故になってしまうことがあります。無理に運転を続けず車を止める勇氣も必要だということを伝えていただきたい」と挨拶がありました。

運転中に身体に以上を感じた場合の措置について

関東運輸局自動車技術安全部
鯖戸洋介課長補佐

皆さんは高いプロ意識と安全意識を持ち、自発的に健康管理と健康増進に励んでいたことが求められます。疾病リスクを低い状態でコントロールするためには、自宅で日常生活を共に送っ

ている家族から、食事、睡眠、運動など、必要な助言・支援を受ける、また健康管理・推進のきっかけ作りをしてもらうことも重要です。平時からの健康増進、疾病等の早期発見・治療はご自身や家族にとつても極めて大きなメリットをもたらします。

そしてもちろん、病気の未然防止や早期発見、治療が最も望ましいのですが、それでも運転中に何らかの異常を感じることがあるかもしれません。運転中にめまいや気分が悪いといった自覚症状があった場合は、迷わず車を止めることが先決です。無理して運行を続け、重大な事故を発生させてしまうことは、プロドライバーとして絶対にあつてはなりません。個人タクシー運転手は、乗客を快適に輸送するだけではなく、安全に輸送することが使命です。また、緊急時に停車する場合でも、二次災害が起きないよう、可能な限り考えて行動することが大切です。

- 無理せず止める
- 安全な場所に止める
- 安全な方法で止める

以上の3つの止め方を普段から心得ておきましょう。実際には運転中に起きることですからなかなか難しいことかと思いますが、普段から「この状況だったらどういう風に止めようか」とイメージトレーニングをすることで、もしもの場合に対応できることもあるかと思えますので、しっかりと頭に入れていただきたいと思っています。

最後になりますが、運行中に身体に違和感を感じたら、無理して運行を継続するのでなく、運行を中止し病院へ向かうことで、自身の健康及びその後の二次被害が防げます。どうか無理して運行することがないように願います。



ドライブレコーダーの導入促進について

ドライブレコーダー

ダーの映像は、事故に遭遇した際、発生の状況から事故の原因を究明し、適切かつ迅速な事故処理が可能となるだけでなく、相手方の法令違反等の立証により、自身の過失軽減に役立ったケースも多々あります。

また、他の交通事故や各種犯罪が発生した際、現場の状況などを映像情報として記録する可能性があり、特にタクシー車両については、昼夜、地域を問わず走行し、繁華街やコンビニ等に設置された防犯カメラ同様、被疑者の早期検挙等に向けた客観的な証拠資料の収集に極めて有効との考えから、平成26年4月17日、警視庁交通部長、警視庁刑事部長及び警視庁生活安全部長と、東京都個人タクシー協会長との間で「映像情報の提供に関する協定」を締結しております。

まだドライブレコーダーを設置していない方は、身の潔白を証明しご自身を守るとともに、より事件の早期解決、被害の拡大防止を図り、都民生活の安全・安心の確保に資するためにも、導入促進にご協力をお願い申し上げます。



地理モニター報告⑧7

【新施設】

名称	概要	所在地	開始日
ホテルグランバツハ東京銀座	「食と音楽が奏でる癒やしの協奏曲」をテーマにしたラグジュアリーホテルが誕生。	中央区銀座5-13	令和3年11月

【道路・橋等】

地図	名称	概要	変更日
	東京都市計画道路補助線 街路第26号線 (品川区二葉1丁目～ 豊町2丁目)	交通渋滞の緩和や防災性の向上が図られるとともに、生活道路へ流入する通過交通が減少するなど、安全性の向上が期待される。 2021地図 P183-L-3～P184-B-4	令和3年 10月

令和3年11月30日更新者の皆さまへ

期限更新申請書提出後の 道交法違反等報告の徹底について

期限更新申請の際に添付した運転記録証明書の証明期間以降、更新期限満了日（11月30日）までの間に、新たな道路交通法の違反等があった場合には、宣誓書に基づき、行政当局に対して直ちに報告を行うこととされています。

しかしながら過去において、この報告を怠ったことが発覚し、当該事業者及び所属団体長が顛末書の提出を求められる事案が多数発生しております。

今般、令和3年11月30日付期限更新者につきまして、期限更新の処分が行われますが、新たな道路交通法の違反等があった場合には、直ちに報告をされますようお願いいたします。

感謝の手紙

全個人協議会 岩崎伸吾さんへの感謝の言葉

西日暮里から乗車しましたが、まず乗る時の挨拶がとても
しっかりされていて感心しました。服装や身だしなみ、接客態
度も素晴らしかったです。目的地までの時間や料金をとても丁寧にかつ的
確に説明し、運転操作もスムーズで、安心して乗ることができました。降り
る時まできちんと挨拶してください、本
当にありがとうございました。

「乗ってよかった」と感じていただけるこ
とが、個人タクシーの未来へとつながりま
す。一人ひとりの心構えで、個人タクシーを
利用していただくお客様をこれからも増や
していきましょう。

計報			*10月	
氏名	所属団体	享年	病名	
大滝 光男	(東個協・足立第一)	59	肺性心	
宮本 国史	(東個協・足立第二)	59	不明	
母谷 俊輔	(東個協・江戸川第二)	65	不明	
横田 幸平	(東個協・品川第二)	71	肺癌	
佐藤 利夫	(都営協・城東)	75	前立腺癌	

ご冥福をお祈り申し上げます

不適正営業集計表（街頭営業適正化指導規程）

発生月	警告事案	処分事案	処分事案(加重)	合計
令和3年9月	1	0	0	1

個タクと私ものがたり

個人タクシー事業者になったきっかけは千差万別。それぞれのきっかけにスポットを当てて紹介します。

●マンガが好きな小学生

小学生低学年の頃、手塚治虫さんのマンガを読んで、マンガの面白さや楽しさにはまりました。2つ上の兄と小遣いを出し合って単行本を買っては回し読みをしたり、マンガのキャラクターを描いてみたり、時には友達の間顔絵を描いたり、すっかり夢中でした。中学生になると、自分でストーリーを考えて大学ノートに細かく切った小さなマンガ本を作り、友人に見せたりもするようになりました。身体も大きかったので野球やバレーボールなどの運動もやっていたのですが、どちらかというと家に帰ってマンガを読んだり描いたりしている方が好きな子どもでした。

●マンガ家を目指して・・・苦悩

それでも最初はマンガ家を目指していたわけではありません。ふと、大学の卒業も就職先も決まったタイミングで、「自分のやりたいことって何だろう」と考え、立ち止まってしまったのです。ずいぶん悩みましたが、好きだったマンガ家を目指そう、30歳までに芽が出なければスッパリとあきらめよう、そう思ってマンガ家を目指すことに決めました。運よく大学の先輩がマンガ家になったばかりだったので、アシスタントとして入らせてもらい、そこでマンガ家の基本的な技術を覚ええました。

そして26歳の時、講談社「モーニング」という青年漫画誌で行われている「ちばてつや賞」で佳作を受賞、その後も再受賞するなど結果が出始め、念願のマンガ家

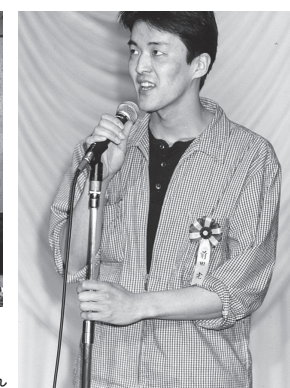
として大きな一歩を踏み出すことが出来ました。受賞

後には担当編集者が付き、連載ではないものの雑誌から依頼を受けて原稿を書いたり、人気マンガ家の所にアシスタントとして派遣されたりと、とてもやりがいを感じたものです。しかし、厳しい世界であることを痛感したのはこの頃からでした。今までは賞を獲ることを目標に頑張ってきましたが、これからは連載を目指し、マンガ家として生き残ること、その大変さが重くのしかかってきたのです。有名なマンガ家のアシスタントとして一定の地位が築ければ、安定した生活も送れるようになるかもしれない

受賞スピーチを行う前田さん



椿山荘で開催された ちばてつや(前列中央) 授賞式
※前田さんは後列右から4番目



【プロフィール】
前田 完 さん
(まだたあきり)
東協・目黒第一支部 昭和43年生
好きな言葉は「常識とユーモア」

雑誌に掲載された
マンガ原稿



す。どこかに未練があつて「ゆくゆく個人タクシー事業者になって、時間が出来たらマンガを描こう」という思いも頭の隅にありましたが、当時はどちらかというと離れたい気持ちが大きかったと思います。

●マンガを好きになって良かった

今でも初乗務の日のことを覚えています。車を降りて家に戻ってから、まるで車に乗っているかのように揺れる感覚が続く、「これから続けられるか・・・」と不安だらけでした。それでも、タクシー会社に入った当時は、年末になればお客さんが溢れかえっているような時代。乗りたい人を乗せる、頑張った分だけ結果が出る、というシンプルで明快な仕事で、それまでの先の見えない不安ばかりだった自分を癒してくれた気がします。

42歳で個人タクシー事業者になり、法人時代はほとんど描かなかつたマンガも、私がマンガ家だったことを知っている先輩からの声掛けもあり、支部便りに書き始めました。今は楽しんで描いています。

最近、改めて手塚治虫さんのマンガを読み直したのですが、その先見性や普遍性に驚くばかりで、子どもの頃にこのような素晴らしい作品と出会えてよかったなあとしみじみ思いました。そして、やっぱりマンガを好きになって良かったと思える日々を送っています。